

玉名市の現況整理 (地域の特色等)

※各地域の「 」(テーマ) は、現都市マス

北部地域「やすらぎ・安心・つながりのある北部地域」

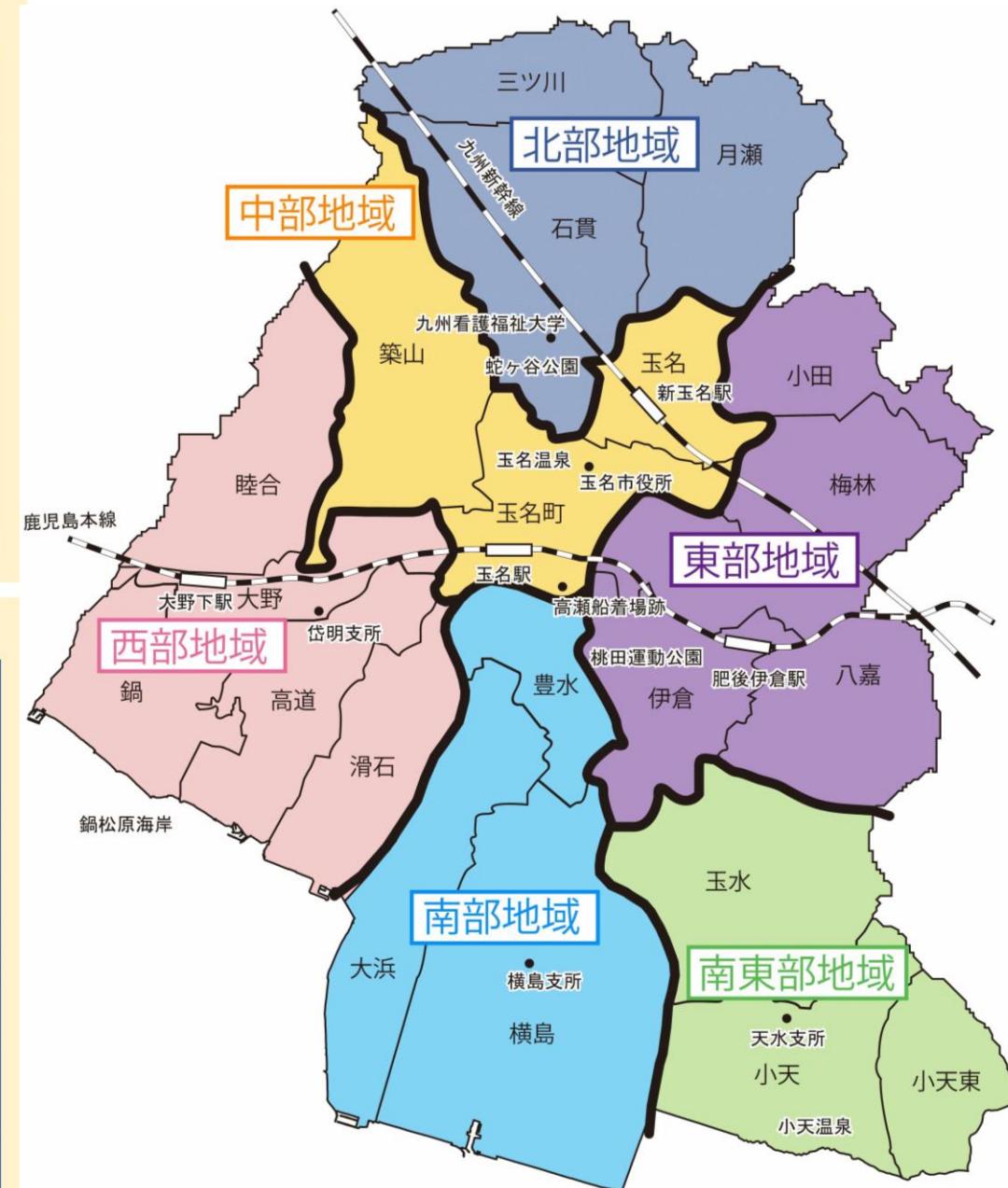
- 【位置】南関町、和水町と隣接する市の北部に位置し、小岱山や菊池川、繁根木川などの自然的景観に恵まれたエリア。
- 【地形・土地利用】大半を山林や田畑が占め、小岱山麓の山間部。
- 【交通】県道玉名八女線は九州自動車道南関 IC に、県道玉名立花線は和水町につながり、沿道には集落を形成。
- 【産業】山間部の農地を利用した農業を主要産業としていたが、産業団地が立地。
- 【景観・地域資源】
- ・小岱山麓の農業集落には代々受け継がれた里山の景観が広がる。
 - ・古墳時代に造られた横穴墓や、寺社や山城など多くの歴史的資源が点在。(例:石貫ナギノ横穴群、石貫穴観音横穴、六反製鉄跡、廣福寺)
 - ・県北唯一の大学である九州看護福祉大学などを有する。
- 【生活・活動】学校再編に伴う、地域コミュニティ拠点の再構築が必要。

西部地域「地域資源に包まれ、つながりが強い西部地域」

- 【位置】南西部の荒尾市、長洲町との隣接部、有明海沿岸部に位置し、岱明地区を中心とした菊池川右岸のエリア。
- 【地形・土地利用】大半は田畑などの田園地帯が広がる自然に恵まれた地域。
- 【交通】岱明支所を中心に、県道長洲玉名線沿道に市街地が形成されている。南部を国道 501 号が走り、中央部を東西方向に走る JR 鹿児島本線には、大野下駅が立地し、人が集まる地域コミュニティの場としても活用。
- 【産業】田園地帯における農業、有明海沿岸部における水産業が盛ん。
- 【景観・地域資源】
- ・地域住民の活動により保全されている「開田のホタル」「日嶽」、歴史的な背景を持つ「菊池川のハゼ並木」(国登録記念物)や「大野下の大ソテツ」(国指定天然記念物)、「晒船着場跡」(市指定史跡)、スポーツコミュニティの場である「鍋松原海岸」等、多様な地域資源を有する。
- 【生活・活動】岱明支所周辺は教育・文化活動、コミュニティ活動の拠点。

南部地域「自然と共生した 歴史・文化を感じる南部地域」

- 【位置】市南部の有明海沿岸部に位置し、横島地区を中心とした菊池川左岸のエリア。
- 【地形・土地利用】大半は干拓による田園地帯が広がり、自然に恵まれた地域。
- 【交通】横島支所を中心に、国道 501 号沿道に市街地を形成。
- 【産業】干拓地に広がる田園地帯では、イチゴ・トマト・ミニトマトなどの施設園芸や稲作などが盛ん。
- 【景観・地域資源】
- ・大浜町には江戸時代以降高瀬の外港として船運業が栄えた「廻船問屋街」や太平洋戦争中に建設された「大浜飛行場及び関連施設跡」など、多くの歴史的資源が点在。
 - ・干拓関係の遺産として、加藤清正公の土木遺構である「石塘・石塘樋門」や、国指定重要文化財の「旧玉名干拓施設」が所在。
- 【生活・活動】有明中学校区で構成された、地域内の人のつながりが深い地域。



中部地域「自然と調和する 便利で活気あふれる中部地域」

- 【位置】市中央部に位置し、地域北側を除いた地区全般において、市街化が進んでいるエリア。
- 【地形・土地利用】市の中心的な市街地を形成し、医療・福祉施設、商業・業務施設、教育施設、観光、交流、交通の拠点など、主要な都市機能が集積。
- 【交通】交通の拠点となる新玉名駅・玉名駅等の鉄道があり、国道 208 号、県道寺田岱明線が東西に走る。
- 【産業】商業を中心に事務サービス等の都市機能を有する。
- 【景観・地域資源】玉名温泉街、高瀬地区、山田の藤等、市を代表する観光施設や、菊池川等の自然景観を有する。
- 【生活・活動】市役所などの官公庁施設、くまもと県北病院などの医療・福祉施設、観光拠点の玉名温泉街、交流拠点の蛇ヶ谷公園、交通拠点の新玉名駅及び玉名駅、商業・業務施設、教育施設など、本市の主要な都市機能が集積。

東部地域「自然と歴史を感じ 安心して生活ができる東部地域」

- 【位置】玉東町、和水町と隣接する市東部に位置する。
- 【地形・土地利用】菊池川や地域を構成する山々、田畑を中心とした農地などの自然的資源に恵まれたエリア。
- 【交通】国道 208 号沿道や県道寺田岱明線、県道熊本玉名線沿道に市街地や集落を形成し、中央部を東西方向に走る JR 鹿児島本線には肥後伊倉駅が立地。
- 【産業】中山間部の田園を利用した農業が盛ん。
- 【景観・地域資源】
- ・市民憩いの場、スポーツ・コミュニティ活動の場である桃田運動公園を有する。
 - ・江戸時代に建築された本殿・拝殿・楼門・鳥居が国の登録文化財である梅林天満宮が所在。
 - ・伊倉地区は、中世において海外貿易港として発展し、伊倉北・南八幡宮といった寺社や、多くの歴史的資源が点在。
- 【生活・活動】
- ・花づくりや伊倉フットパスなど、地域活動が盛ん。
 - ・学校再編に伴う、地域コミュニティ拠点の再構築が必要。

南東部地域「自然と文化に包まれ 交流といやしのある南東部地域」

- 【位置】熊本市、玉東町と隣接する市南東部に位置し、有明海を眼下に望む丘陵地に位置。
- 【地形・土地利用】金峰山系の熊ノ岳・三ノ岳の緩やかな傾斜面を活用した果樹栽培が盛んな中山間地と田園地帯からなる自然的資源に恵まれたエリア。
- 【交通】天水支所を中心に、県道熊本玉名線沿道に市街地を形成し、国道 501 号が地域を南北方向に縦断。
- 【産業】有明海を望む天水地区の丘陵地は、全国有数のみかんの産地。また、田園地帯では、イチゴ・トマト・ミニトマトの施設園芸や稲作が盛ん。
- 【景観・地域資源】夏目漱石の小説「草枕」の舞台となった「前田家別邸」をはじめ、小天温泉、「草枕温泉てんすい」、「草枕交流館」などの交流施設、有明海を見渡せる「実山展望公園」、また、熊本名水百選にも選ばれた「尾田の丸池」や俳優「笠智衆」の生家など、地域の歴史と豊かな自然を感じられる資源が多く点在。
- 【生活・活動】天水中学校区で構成された、地域内の人のつながりが深い地域。一部過疎地域に指定されている。

地域ごとの今後の方向性についての整理

北部地域「里山のやすらぎと安心・つながりのある北部地域へ」

① 豊かな自然環境に囲まれたやすらぎと安心のあるまちづくり

- ・小岱山や菊池川、繁根木川、山林や田畑などの自然環境の保全・活用
- ・県道玉名八女線、県道玉名立花線沿道の集落の快適な住環境の維持など

② つながりのある地域づくり

- ・産業集積の土地利用の推進（三ツ川地区の一部）
- ・小岱山麓の農業集落における代々受け継がれてきた里山景観の保全
- ・横穴墓や、寺社や山城など数多くの歴史的資源の継承・活用
- ・九州看護福祉大学との連携・協力
- ・地域コミュニティの維持・向上（小学校に代わるコミュニティ活動拠点の形成）

西部地域「地域資源を誇り、

つながりを基軸とした暮らしやすい西部地域へ」

① 地域資源を見つめ直し、活用したまちづくり

- ・菊池川、有明海沿岸部、田畑等の自然環境の保全・活用
- ・「開田のホタル」「日嶽」「菊池川のハゼ並木」や「大野下の大ソテツ」、「晒船着場跡」、「鍋松原海岸」等、幅広く特色のある地域資源の活用
- ・農水産業の振興に繋がるまちづくり

② 交流やつながりを通じた暮らしやすい地域づくり

- ・大野下駅での地域コミュニティ活動の推進
- ・鍋松原海岸におけるスポーツ及びコミュニティ活動の推進
- ・岱明支所周辺の公共公益施設の集約化

南部地域「干拓地を生かした 歴史・文化を感じる南部地域へ」

① 自然環境の保全と地域資源としての活用による自然と共生したまちづくり

- ・有明海沿岸部、菊池川、干拓による田園地帯等の自然環境の保全・活用
- ・農水産業の振興に繋がるまちづくり

② 歴史・文化を感じる暮らしやすい地域づくり

- ・廻船問屋街、大浜飛行場及び関連施設跡、石塘・石塘樋門、旧玉名干拓施設等の歴史的資源の継承・活用
- ・横島支所周辺の公共公益施設の集約化

中部地域「自然と調和した便利で活気あふれる中部地域へ」

① 「県北地域の発展を主導する交流拠点都市」の中心部としてふさわしい地域づくり

- ・本市の主要な都市機能集積に応じた人口集積の推進及びにぎわいのある交流エリアの形成
- ・新玉名駅周辺：有効な土地利用による拠点性向上
- ・玉名駅周辺：交通結節点としての機能向上、アクセス性の向上、拠点性向上及びにぎわいのある交流エリアの形成
- ・玉名市役所本庁舎周辺：拠点性に応じた人口集積の推進
- ・旧玉名市役所周辺：にぎわいのある市街地形成
- ・公立玉名中央病院跡地の有効活用に向けた検討

② 観光振興や交流の推進を通じた活気あふれる地域づくり

- ・玉名温泉街、高瀬地区、山田の藤等、市を代表する観光施設や菊池川等の自然景観の有効活用・交流の推進
- ・蛇ヶ谷公園等におけるレクリエーション、スポーツ及びコミュニティ活動の促進

東部地域「自然と歴史を感じ 安心して生活ができる東部地域へ」

① 自然的資源や歴史的資源を活かしたまちづくり

- ・菊池川や農地等の自然環境の保全・活用
- ・農業の振興につながるまちづくり
- ・梅林天満宮、伊倉北・南八幡宮などの歴史資源の継承や活用

② つながりのある安心して生活ができる地域づくり

- ・桃田運動公園等の市民の憩いの場、スポーツ及びコミュニティ活動の場における交流機能の維持・向上
- ・花づくりや伊倉フットパス等の市民主体の交流活動の推進
- ・地域コミュニティの維持・向上（小学校に代わるコミュニティ活動拠点の形成）

南東部地域「丘陵地の自然と文化が息づく 交流といやしの南東部地域へ」

① 豊かな自然や歴史・文化を活かしたまちづくり

- ・金峰山系の山々、田園地帯などの自然環境の保全・活用
- ・農業の振興につながるまちづくり
- ・前田家別邸、草枕温泉てんすい、草枕交流館、実山展望公園、尾田の丸池、笠智衆の生家など様々な地域資源や特色ある景観資源の活用

② 交流といやしのある暮らしやすい地域づくり

- ・金峰山系山間部は休息やレクリエーションの場としての活用の推進
- ・小天温泉における既存観光施設の有効活用や活性化
- ・天水支所周辺の公共公益施設の集約化
- ・計画的な土地利用による集落の維持向上



市全域

市街地ゾーン周辺の農地

- ・本市の基幹産業である農業の振興を進めると同時に、豊かな自然環境や美しい田園景観の形成などにも寄与している区域として保全を図る

菊池川などの河川空間

- ・浸水などの災害に備えた河川改修を促進するとともに、生態系に配慮した多自然川づくりを推進
- ・生態系に十分配慮した環境共生の取組や、豊かな市民生活の実現や健康増進に向けた憩いの場として積極的な活用を図る
- ・（豊かな自然環境を保全していくために）自然と共存した都市づくりを推進